

4K@60 対応 HDMI6x1 マルチビュープロセッサ

DVP661

<ユーザーズガイド>

取扱説明書 Ver.1.0.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中において、[®]マークや[™]マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図などが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.arvanics.com>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、クイックスタートガイドおよびコマンドガイドについては、弊社ホームページからのダウンロード提供のみになります。

■ユーザーズガイド (本書)

[目的]

- ・ 設置し、周辺機器と接続をする。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

■クイックスタートガイド

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。

■コマンドガイド

[目的]

- ・ シリアル通信および LAN 通信などによる外部制御をする。



安全上のご注意







製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く



警告

■重い製品を持ち上げるときは





 指示	<p>●持ち上げるときは2名以上で作業する</p> <p>製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に降ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。</p> <p>一人での持ち上げは負傷を招く原因となります。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⚠ 警告


■設置・接続するときは

 禁止	<p>●不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p> <p>●振動のある場所に設置するときは固定する 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
 指示	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後に、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p>

■お使いのときは

 禁止	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプターは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 分解禁止	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 接触禁止	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 指示	<p>●電源プラグの埃などは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>




■もしものときは

 プラグを抜く	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------





注意

■設置・接続するときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●埃・油煙・湿気の多い場所に置かない 埃の多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける (ラックへ設置できる製品の場合) EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない (ゴム足付き製品の場合) ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

■お使いのときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。

目次

1. 同梱物の確認.....	9
2. 製品概要.....	10
3. 各部名称と働き.....	11
3.1. フロントパネル.....	11
3.2. リアパネル.....	12
4. 基本設定.....	13
4.1. DVP661 の制御方法.....	13
4.2. LCD パネルとフロントボタンの基本設定.....	14
4.2.1. Advanced メニュー.....	14
4.2.2. Layouts メニュー.....	14
4.2.3. User Presets メニュー.....	14
4.3. ログイン手順.....	15
4.4. 言語設定.....	16
5. 操作方法.....	17
5.1. コントロール画面の説明.....	17
5.2. ビデオウィンドウの操作方法.....	18
5.3. プロパティ設定.....	21
5.3.1. 配置.....	21
5.3.2. アスペクト比を維持.....	21
5.3.3. トリミング.....	22
5.3.4. ソース切替.....	22
5.3.5. ウィンドウ効果.....	23
5.3.6. フレーム.....	23
5.3.7. OSD.....	24
5.4. 音声入出力の切換方法.....	25
6. 設定方法.....	26
6.1. 出力設定.....	26
6.2. カスタム出力解像度.....	27
6.3. 入力設定.....	29
6.4. 詳細設定.....	31
6.4.1. ユーザープリセット.....	31
6.4.2. ネットワーク設定.....	32
6.4.3. シリアルポート.....	32
6.4.4. 日付&時刻.....	33
6.4.5. エクストラ.....	33
6.4.6. 背景イメージ.....	35
6.4.7. ロゴ.....	35
6.4.8. 管理.....	36
6.4.9. ログ.....	36
6.4.10. 情報.....	37
7. IP カメラ&メディアプレーヤー機能.....	38
7.1. プレイリストの作成.....	38
8. シナリオ操作.....	40
8.1. DXScenario User Interface.....	40
8.2. シナリオファイルの編集と操作.....	41
8.3. カレンダーを利用した DXScenario ユーザーインターフェース.....	42
8.4. スケジュールイベントの作成.....	43

9. 外部キーボードを使った操作.....	44
10. 製品仕様.....	45
11. 正常に動作しないときは.....	47

1. 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までお問い合わせください。

- | | | |
|---------------|---|-------|
| • DVP661 本体 | … | 1 台 |
| • 専用 AC アダプター | … | 1 個 |
| • 専用 AC コード | … | 1 本 |
| • ラック取付金具 | … | 1 セット |
| • 取扱説明書(本書) | … | 1 冊 |

2. 製品概要

DVP661 はメディアプレーヤー機能を搭載したマルチビュープロセッサです。

映像入力は HDMI 6 系統、映像出力は HDMI 1 系統です。最大 4K@60 (4:4:4)の映像信号に対応します。

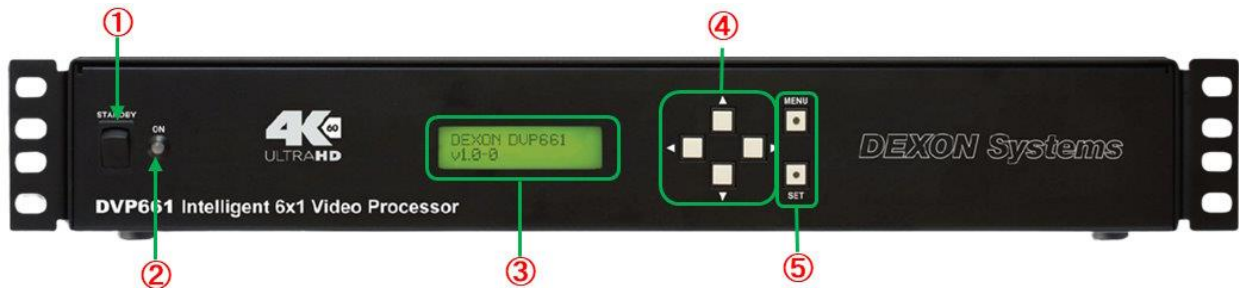
音声入力 は HDMI とアナログ各 6 系統、音声出力は HDMI とアナログ各 1 系統です。

入力された音声信号は、HDMI とアナログ音声に分配出力します。

RS-232C、LAN から本機を遠隔操作できます。

3. 各部名称と働き

3.1. フロントパネル



[図 3.1] フロントパネルの外観図

[表 3.1] フロントパネルの各名称と説明

番号	名称	説明
①	スタンバイスイッチ	主電源が入っている際に押すと本機が起動します。
②	パワーLED	電源が入っている際に点灯します。スタンバイ時は消灯します。
③	LCD ディスプレイ	メニューの選択やステータスを確認できます。
④	矢印ボタン	▲▼◀▶のボタンでメニューの選択を行います。
⑤	メニュー / 決定ボタン	メニューをLCDディスプレイに表示します。 設定の決定をします。

3.2. リアパネル



[図 3.2] リアパネルの外観図

[表 3.2] リアパネルの各名称と説明

番号	名称	説明
⑦	主電源 LED	主電源が入っている際に点灯します。
⑧	12V DC	添付の AC アダプターを接続します。
⑨	LAN コネクタ	ブラウザでの操作や LAN コマンドを受けることができます。
⑩	RS-232C コネクタ	RS-232C コマンドを受けることができます。
⑪	USB コネクタ	メディアプレーヤー機能を利用する際に利用します。
⑫	出力コネクタ	HDMI とアナログオーディオを出力します。
⑬	入力コネクタ	HDMI とアナログオーディオを入力します。

4. 基本設定

4.1. DVP661 の制御方法

本機は以下の方法で制御することができます。

1. Web ブラウザーからの設定・制御

本機を LAN に接続します。本機の IP アドレスを同じネットワーク上にある PC やタブレットの HTML5 対応ブラウザに入力してください。ネットワークが正常に動作している場合、DXHTML Control アプリケーションのログインウィンドウが表示されます。

2. 外部制御コマンドからの制御

外部制御コマンドを利用して、リモートオペレータ PC やタッチパネル等から本機を制御することが可能です。詳細は別冊のコマンドガイドをご確認ください。

4.2. LCD パネルとフロントボタンの基本設定

本機はフロントボタンと LCD パネルによって設定することができます。以下のメニューは「MENU」ボタンを押した後▲▼ボタンを押すことで選択できます。

4.2.1. Advanced メニュー

- **Remote Control**

IP アドレスやネットワークマスク等のリモート制御に関するパラメータを設定します。設定を保存するには「SET」ボタンを押し、設定を有効にするには「Apply now」を選択してください。

- **Serial Port**

RS-232C ポートの通信設定を行います。ボーレート(Baud rate)、データビット(Databits)、フロー制御(FlowControl) の設定変更が可能です。

- **Factory Reset**

本機の全ての設定を工場出荷時に戻します。

4.2.2. Layouts メニュー

- **Layout #1 ~ #64**

現在の映像ウィンドウの配置をレイアウトとして保存、削除できます。また、保存済みのレイアウトを呼び出すことができます。以下のメニューが利用可能です。

- **Store**

現在の映像ウィンドウの配置を保存します。

- **Clear**

保存されているレイアウトを削除します。

- **Recall**

保存しているレイアウトを呼び出し、出力に表示します。

4.2.3. User Presets メニュー

- **Preset #1 ~ #4**

現在の入出力設定および詳細設定のパラメータをプリセットとして保存、削除できます。また、保存済みのプリセットを呼び出すことができます。以下のメニューが利用可能です。

- **Store**

現在の設定パラメータを保存します。

- **Clear**

保存されているプリセットを削除します。

- **Recall**

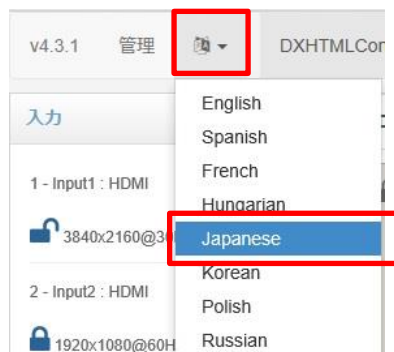
保存しているプリセットを呼び出し、設定に反映します。

4.3. ログイン手順

<p>ステップ1. 本体背面のLANポートとネットワークスイッチ、またはPCとLANケーブルで接続します。その後、フロントパネルの電源を投入してください。</p>	
<p>ステップ2. ネットワーク設定を行います。デフォルト IP アドレスは DHCP 自動取得になっています。IP アドレスはフロントパネルとキー操作によって以下の操作で変更可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Advanced ▶ Remote Control ▶ DHCP Enable へ進み、▶ ボタンを押します。 2. ▲▼ボタンで Disable を選び Set ボタンを押します。 3. ◀ ボタンを押して戻り、▲▼ボタンを押して IP Address を選び ▶ ボタンを押します。 4. ▲▼ボタンで IP アドレスを設定し、◀ ボタンで戻ります。 5. ▲▼ボタンを押して Network Mask を選び ▶ ボタンを押します。 6. ▲▼ボタンで IP アドレスのサブネットマスクを設定し、◀ ボタンで戻ります。 7. ▲▼ボタンを押して Apply now を選択し、Set ボタンを押します。 	
<p>ステップ3. PC のウェブブラウザを起動し、アドレスバーに上記で設定した IP アドレスを入力します。ログイン画面が表示されます。 ユーザー名とパスワードを入力してください。 ユーザー名 : Administrator パスワード : dexon</p> <p>*パスワードは Web ブラウザーから変更可能です。 *IP アドレス設定後接続がうまくできない場合は、本機と PC を LAN ケーブルで接続した状態で本機を再起動してください。</p>	

4.4. 言語設定

初めてログインした場合、コントロール画面は英語表示になっています。ログイン後、画面上部の言語設定アイコンをクリックし、「Japanese」を選択することで日本語に言語を変更できます。

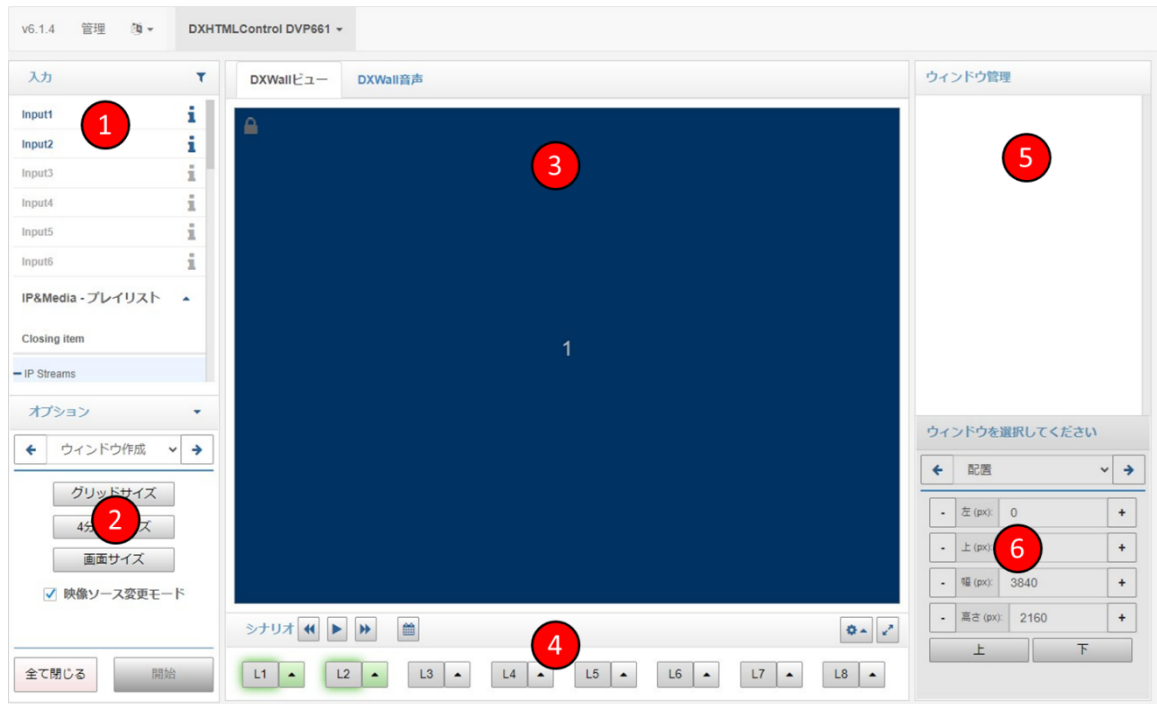


[図 4.1] 言語設定の変更

5. 操作方法

5.1. コントロール画面の説明

本機にログインすると、以下のコントロール画面が表示されます。




【図 5.1】コントロール画面

① 入力エリア	<p>入力チャンネルのステータスを表示します。 ここで認識された入力信号のタイミング（入力解像度およびフレッシュレート）と HDCP のステータスを確認することができます。</p>
② オプション	<p>ドロップモードの変更、グリッドラインの設定、切換効果、DXWall ビューのアスペクト比の設定を行います。 また「すべてを閉じる」ボタンを利用することで全てのウィンドウを閉じたり、「開始」ボタンを利用して DXWall ビュー上で行った変更を表示器に反映させたりすることが可能です。 オプション内の「自動で反映させる」にチェックが入っている場合は、DXWall ビュー上で行った変更は直ちに反映されます。</p>
③ DXWall ビュー	<p>ここにビデオウィンドウを配置することで、映像ソースを出力先スクリーンに表示します。ビデオウィンドウは自由に動かすことができます。その際には DXWall ビュー上でビデオウィンドウを表す四角形を選択し、配置したい場所にドラッグしてください。</p>

④ レイアウト シナリオ再生・手動切換	ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、ボタン操作一つで簡単に呼び出すことが可能です。 また、保存したレイアウトは、表示時間を設定して自動で切り換えること(シナリオ再生)が可能です。
⑤ ウィンドウ管理	表示中のビデオウィンドウの配置と入力信号のパラメータを表示します。また、Z 順序（最前面・最背面等）の変更も可能です。
⑥ ウィンドウプロパティ	ビデオウィンドウのパラメータの設定変更が可能です。以下の設定項目がこのエリアに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 配置 ● アスペクト比を維持 ● トリミング ● ソース切替 ● ウィンドウ効果 ● フレーム ● OSD

5.2. ビデオウィンドウの操作方法

ビデオウィンドウの操作方法について、以下で説明します。

<p>ステップ1. 入力信号をスクリーン内に配置する場合は、以下の手順で行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入力エリアにて、表示したい入力チャンネルをクリックして選択状態にします。 <ul style="list-style-type: none"> ● 入力チャンネル右の i アイコンをクリックすることで、その入力信号の情報を表示できます。鍵マークがついている入力信号は、HDCPが付加されています。 2. 入力信号を選択後、DXWall ビュー上の任意の場所をクリックします。DXWall ビュー内にビデオウィンドウが配置されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 入力チャンネルをドラッグして、DXWall ビュー上の任意の場所にドロップすることでビデオウィンドウを配置することも可能です。これをドラッグアンドドロップモードと呼びます。 	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

ステップ2.

ドラッグアンドドロップモードを利用するにあたって、ドロップモードを使うとビデオを既定のサイズで開くことができます。

1. オプションからウィンドウ作成を選択します。
 2. グリッドサイズ、4分の1サイズ、画面サイズから選択します。
- デフォルトサイズモード(Default Size Mode) : ボタンを選択しない場合、ウィンドウはデフォルトサイズで表示されます。
 - グリッドサイズ : 選択されたグリッドによって定められるエリアに合わせて表示されます。
 - 4分の1サイズ : スクリーンの1/4のサイズで表示されます。

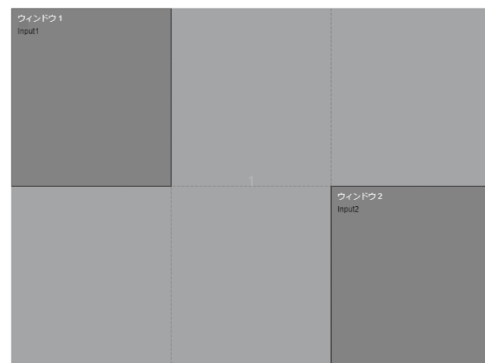


グリッドサイズ

4分の1サイズ

画面サイズ

映像ソース変更モード



グリッドサイズ



4分の1サイズ

- **画面サイズ：**
スクリーンサイズいっぱいに表示されます。

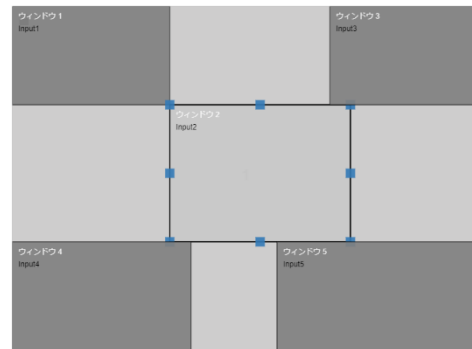


画面サイズ

「すべてを閉じる」を押すことで開いているウィンドウをすべて閉じることができます。

ステップ3.

DXWall ビュー上の濃い灰色の長方形をクリックすると、ウィンドウがアクティブになります。またコーナー近くにある青い四角形をドラッグして動かすことで、ウィンドウのサイズを変更することが可能です。



ステップ4.

DXWall ビュー上の入力ウィンドウをドラッグすることで、各入力ウィンドウを希望の配置に移動できます。

正確にサイズ変更したい場合には、DXWall ビュー上のウィンドウをクリックすると、DXWall ビューの右上にウィンドウ操作メニューが表示されます。

「閉じる」をクリックすると、選択されたウィンドウが削除されます。

「位置設定」のドロップダウンから選択したウィンドウのサイズが変更できます。



ウィンドウ操作メニュー



5.3. プロパティ設定

スクリーン上に表示されるビデオウィンドウの外観は、コントロール画面右下のプロパティエリアにて設定できます。表示される設定項目について、以下で説明します。

5.3.1. 配置

ビデオウィンドウを配置する位置を設定できます。

[図 5.2] 配置プロパティページ

- **左 / 上 / 幅 / 高さ**
ビデオウィンドウの位置とサイズを数値で指定することが可能です。
- **上 / 下ボタン**
ビデオウィンドウのZ順序(上部・下部)を設定できます。上を押すと前面に、下を押すと背面にウィンドウが移動します。

5.3.2. アスペクト比を維持

入力信号のアスペクト比を維持させたい場合はこちらの設定を使用します。

[図 5.3] アスペクト比を維持プロパティページ

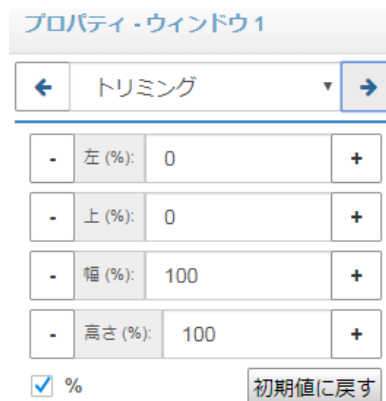
- **アスペクト比を維持**

入力信号のアスペクト比を崩さずに映像を表示したい場合は、チェックを入れます。

サイズ基準 / 位置基準

「アスペクト比を維持」を有効にした場合において、ウィンドウサイズや位置を変更したときの表示サイズ、および位置の基準点を指定します。

5.3.3. トリミング



[図 5.4] トリミングプロパティページ

ウィンドウ上に表示する入力信号の一部を切り出して表示することができます。切り出しは、左、上、幅、高さの数値を調整することで行うことができます。「初期値に戻す」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります。

5.3.4. ソース切替



[図 5.5] ソース切替プロパティページ

- **入力**

選択したビデオウィンドウの入力チャンネルを変更することができます。

- **透明度**

ウィンドウの透明度設定が可能です。100%に設定すると不透明の状態となり、数値を下げることでウィンドウが透明になり、背面のウィンドウを透過して表示することが可能になります。

5.3.5. ウィンドウ効果

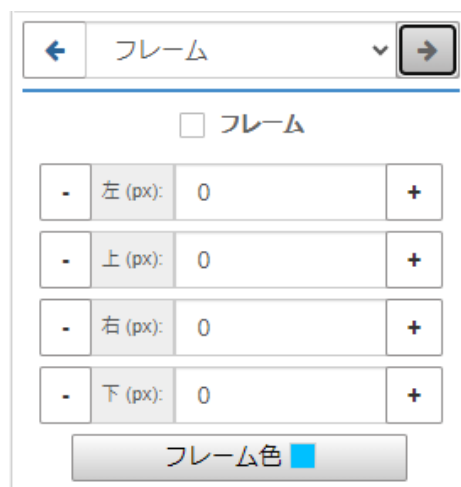
ビデオウィンドウの表示・消去時および入力チャンネルの切換時の効果と時間を設定できます。



[図 5.6] Effects プロパティページ

5.3.6. フレーム

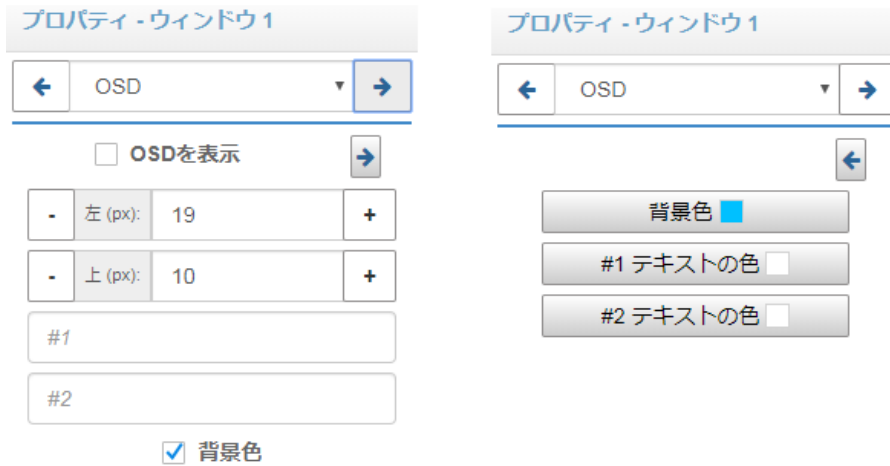
選択したビデオウィンドウの外周にフレームを付けることができます。フレームのサイズと色を設定できます。



[図 5.7] Frame プロパティページ

5.3.7. OSD

選択したウィンドウ上に OSD を設定することができます。OSD は 2 つまで設定することができます、それぞれ文字色と背景色を設定することができます。



[図 5.8] OSD プロパティページ

以下の変数が利用できます。

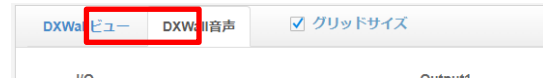
[表 5.1] 使用可能変数一覧

変数	置き換えられる値
[input_name]	入力チャンネルの名前
[input_id]	入力シリアルナンバー
[input_port]	入力チャンネル
[input_timing]	入力信号のタイミング
[input_hdcp]	入力信号の HDCP ステータス ("HDCP"もしくは")
[output_name]	出力チャンネルの名前
[output_id]	出力シリアルナンバー
[output_timing]	出力信号のタイミング
[output_rotation]	出力信号のローテーション
[output_hdcp]	出力信号の HDCP ステータス ("HDCP"もしくは")
[window_id]	ウィンドウ ID
[window_position]	ウィンドウの位置座標
[window_size]	ウィンドウのサイズ
[alarm_osd]	入力信号が無効な場合は OSD が表示され、有効な場合は OSD が表示されません

5.4. 音声入出力の切換方法

ステップ1.

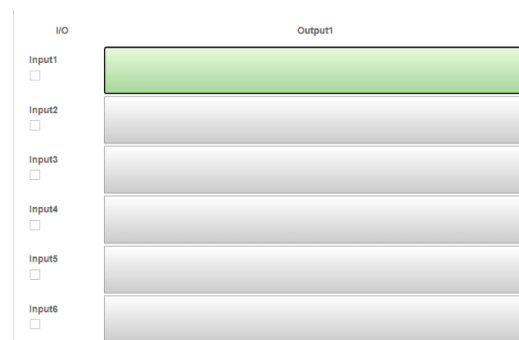
DXWall ビューエリアにある「DXWall 音声」タブを選択します。デフォルトでは、音声入出力画面はグリッドモードで表示されています。



※ 画面上部にある「グリッドサイズ」のチェックを外すことで、アサインメント画面の表示を切り換えることが可能です。

ステップ2.

入力チャンネルのボタンをクリックします。ボタンが緑色で表示され、選択した入力ソースの音声が出力されます。



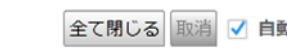
※ 選択したボタンが青色で表示されている場合は、待機中の状態で、まだ音声は出力されていません。この状態から「開始」ボタンを押すと、音声が出力されます。

※ 自動的に反映させる場合は、画面下部にある「自動で反映させる」にチェックを入れてください。



ステップ3.

緑色のボタンをもう一度クリックするか、「全て閉じる」ボタンを押すことで出力中の音声を停止できます。



6. 設定方法

6.1. 出力設定

スクリーンの出力設定方法について、以下で説明します。

ステップ1.

画面上部の「DXHTMLControl DVP661」のタブをクリックし「設定」を選択します。

画面中央に、出力設定が表示されます。

背景色：

スクリーンの背景色を設定します。

出力のタイミング：

出力解像度を設定します。リストから解像度設定を選択します。

カスタムタイミング：

任意の出力解像度を設定できます。

色深度：

出力映像のカラーフォーマット（RGB / YCbCr 4:4:4 / YCbCr 4:2:2 / YCbCr 4:2:0）を設定します。

HDCP を有効化：

チェックを入れると出力信号に HDCP を付加するようになり、HDCP 対応モニタに HDCP ソース映像を表示できるようになります。

テスト：

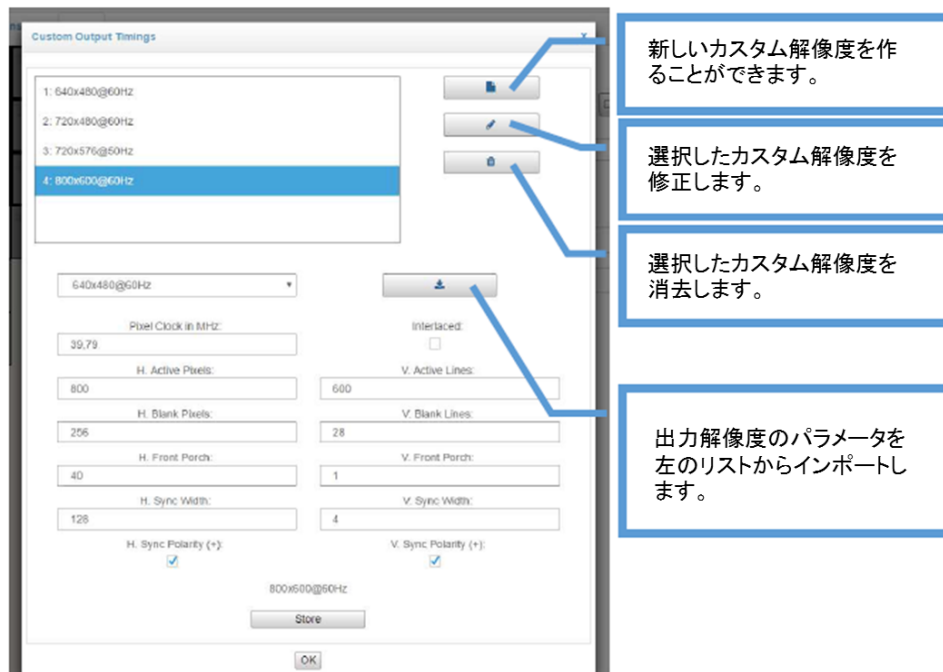
スクリーンにテストパターンを表示することが可能です。



出力設定画面

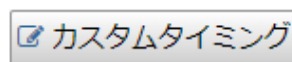
6.2. カスタム出力解像度

本機は一般的な表示器で使われている解像度を内蔵しています。しかし、LED パネルディスプレイ等を利用する際は、内蔵のリストにないフォーマットが必要となります。カスタム出力解像度機能を利用することにより、パラメータを変更することで出力解像度を作成することができます。



【図 6.1】 カスタム出力解像度設定画面

カスタム出力解像度設定画面により、新しい出力解像度を作成や修正、削除を行うことができます。カスタム出力解像度設定画面には、出力設定画面上にある「カスタムタイミング」ボタンから入ることができます。

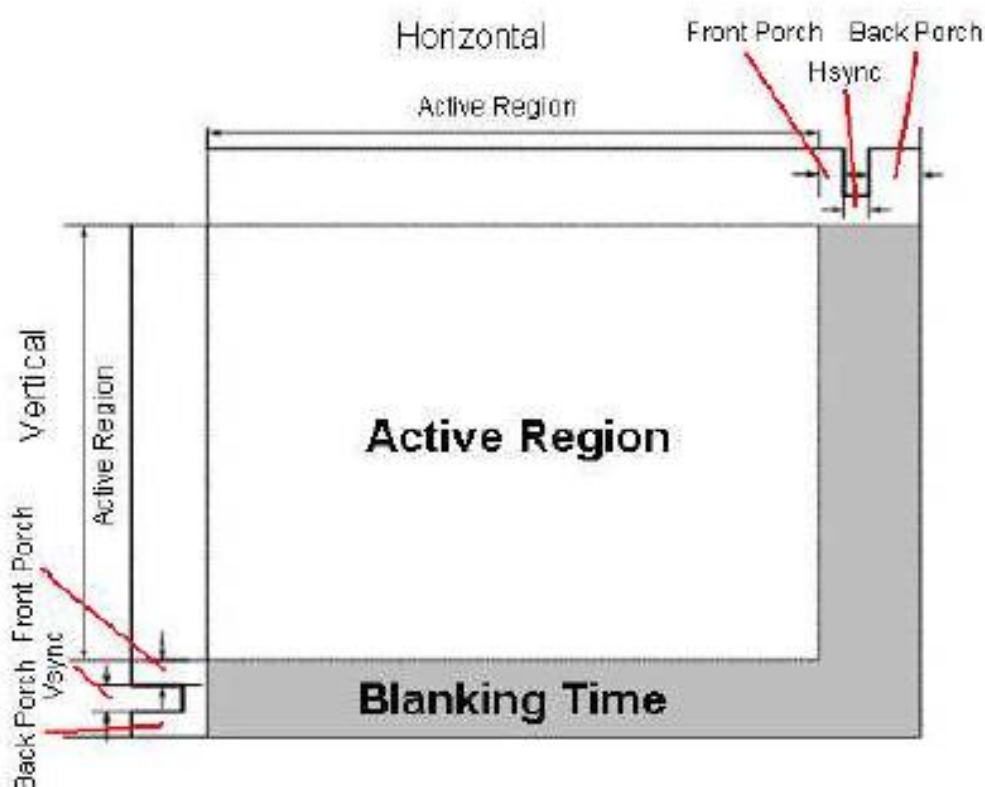


【図 6.2】 Custom Timing ボタン

カスタム出力解像度を設定することで、出力ポートが対応している範囲内での出力解像度のリストを増やすことができます。

カスタム出力解像度設定画面には以下のパラメータがあります。

- **Pixel Frequency** (MHz)
- **Active Area Width** (pixels)
- **H Blanking Interval** (pixels)
- **H Front Poach** (pixels)
- **H Sync Width** (pixels)
- **Active Area Width** (pixels)
- **V Blanking Interval** (pixels)
- **V Front Poach** (pixels)
- **V Sync Width** (pixels)
- **Sync polarities** (positive もしくは negative)




[図 6.3] カスタム解像度設定画面

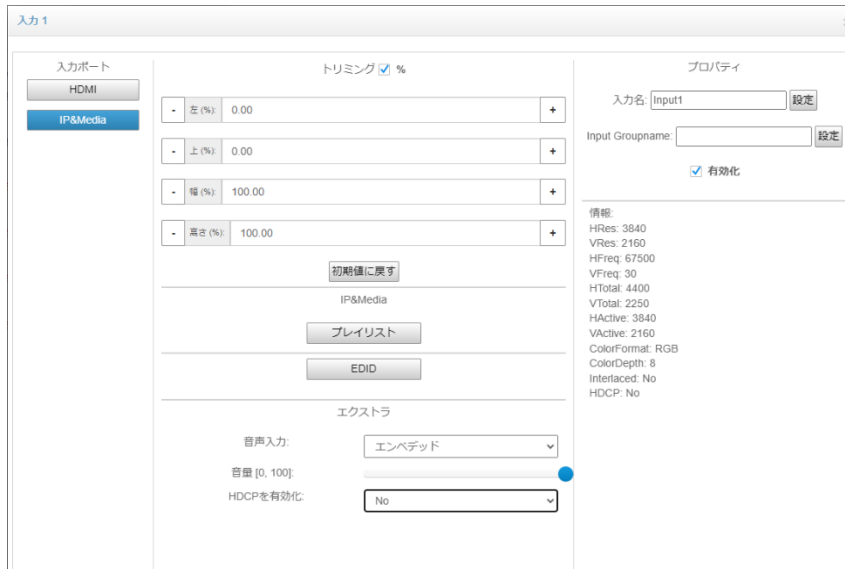
各パラメータの関係性は以下となります。

- $V \text{ Blanking Interval} = V \text{ sync} + V \text{ Back Porch} + V \text{ Front Porch}$
- $H \text{ Blanking Interval} = H \text{ sync} + H \text{ Back Porch} + H \text{ Front Porch}$
- $V \text{ Total Size} = V \text{ Blanking Interval} + \text{Active Area Height}$
- $H \text{ Total Size} = H \text{ Blanking Interval} + \text{Active Area Width}$
- $\text{Line Frequency} = \text{Frame rate} \times V \text{ total size}$
- $\text{Pixel Frequency} = \text{Line Frequency} \times H \text{ total size} = \text{Frame rate} \times V \text{ Total Size} \times H \text{ Total Size}$

【注意】 カスタム出力解像度を利用する際は、事前検証を行ってください。

6.3. 入力設定

設定画面の入力信号パネルには、入力チャンネルのステータスが表示されます。 アイコンをクリックすると、入力信号設定ウィンドウが開きます。入力信号に関するパラメータの設定・確認を行うことができます。



【図 6.4】 入力設定 (入力 1)

- **入力ポート**
入力 1 に限り、入力ポートを HDMI と IP&Media から切り換えることが可能です。その他の入力チャンネルは、HDMI 固定になります。
- **トリミング**
入力信号の一部を切り出して表示することができます。切り出しは、左、上、幅、高さの数値を調整することで行うことができます。「初期値に戻す」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります
- **プレイリスト**
入力 1 の設定画面でのみ表示されます。ボタンを押すことで、IP カメラやメディアファイルソースのプレイリストを設定できる画面が表示されます。
- **EDID**
入力チャンネルの EDID 情報を設定します。リストから映像解像度を選択する、または数値を指定してカスタム EDID を設定することが可能です。

【注意】 カスタム EDID 機能を利用する際は、事前検証を行ってください。

- **音声入力**
入力する音声信号を、HDMI エンベデッド音声、またはアナログ音声入力から選択できます。
- **音量**
入力音声レベルを 1 から 100 の間で設定できます。デフォルトは 100 です。
- **HDCP を有効化**
接続したソース機器の HDCP 出力について設定できます。「No」に設定した場合、ソース機器は著作

権保護されていない映像信号のみを出力します。入力信号に著作権保護されたコンテンツが含まれる場合は、「1.x」、または「1.x - 2.2」を設定してください。

- **入力名**
コントロール画面上に表示される入力チャンネルの名称を設定できます。
- **Input Groupname**
グループ名を設定することで、コントロール画面上に表示される入力チャンネルをグループごとに並び替えられます。
- **情報**
入力信号のステータスを表示します。

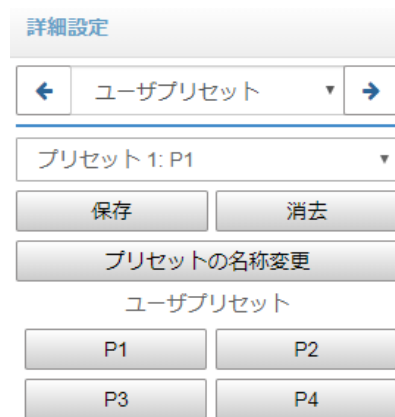
6.4. 詳細設定

設定画面の右側に、複数のタスク設定が可能な詳細設定エリアがあります。
設定項目について、以下で説明します。

6.4.1. ユーザープリセット

すべての入出力設定および詳細設定のパラメータをプリセットボタンに保存し、呼び出すことが可能です。
異なるユーザープリセットを4つまで保存可能です。ドロップダウンリストから登録先のプリセットボタンを選択します。

保存ボタンを押すと、現在の設定パラメータがプリセットボタンに登録されます。プリセットボタンの登録を解除する場合は、消去ボタンを押します。



【図 6.5】 ユーザープリセット

- **プリセットの名称変更**
選択したプリセットボタンの名前を変更することが可能です。
- **ユーザープリセット**
登録済みのプリセットボタンを押すことで、ユーザープリセットのリストアが実行されます。

【注意】 プリセットをリストアすると、システムは再起動しユーザーはログアウトします。設定を行うには再度ログインが必要です。

6.4.2. ネットワーク設定

ネットワークパラメータを設定することができます。DHCP 自動取得もしくは固定 IP (IP アドレス、サブネットワークマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS) を設定できます。

←	ネットワーク設定	→
IPアドレス:	192.168.24.102	
ネットワークマスク:	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ:	192.168.24.254	
プライマリDNS:	8.8.8.8	
セカンダリDNS:	8.8.4.4	
<input type="checkbox"/>	DHCP	
適用		

[図 6.6] ネットワーク設定

6.4.3. シリアルポート

シリアルポートのパラメータを設定できます。

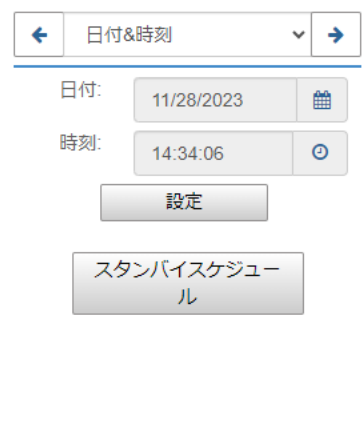
- ボーレート
- データビット
- パリティ
- ストップビット
- フロー制御

詳細設定		
←	シリアルポート	→
ボーレート:	9600	
データビット:	8	
パリティ:	None	
ストップビット:	1	
フロー制御:	None	
設定		

[図 6.7] シリアルポート

6.4.4. 日付&時刻

システムの日付と時間を設定できます。また、指定した時刻にシステムのスタンバイ、ウェイクアップをスケジュール実行することも可能です。



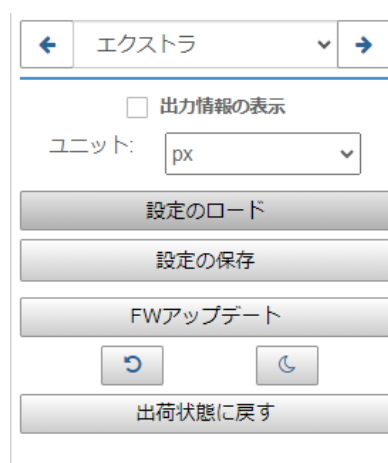
[図 6.8] 日付&時刻



[図 6.9] スタンバイスケジューラー

6.4.5. エクストラ

いくつかの管理者タスクを実行できます。



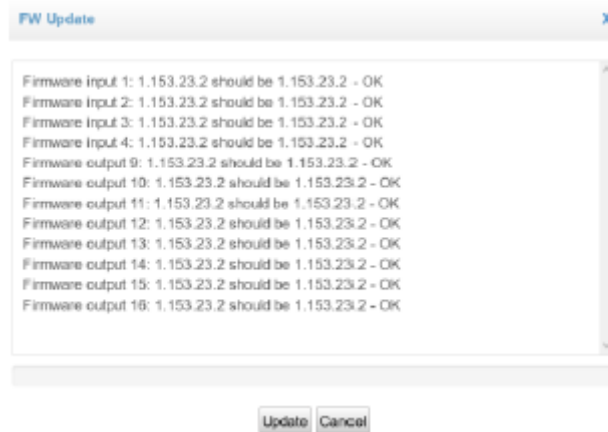
[図 6.10] エクストラ

- **出力情報の表示**
チェックを入れると、出力解像度情報を表示器上に表示します。設定画面を閉じると無効になります。
- **ユニット**
数値の単位を変更できます。本機は「px（ピクセル）」のみになります。
- **設定の保存**
現在の構成がファイルに保存されます。
- **設定のロード**
前回保存した構成のファイルをロードできます。その際、ロード前の構成は消去されます。



【注意】構成をロードすると、システムは再起動しユーザーはログアウトします。設定を行うには再度ログインが必要です。

- **ファームウェアアップデート**

ファームウェアアップデートダイアログを開きます。Update ボタンを押すことで、新しいバージョンや別のバージョンのファームウェアがアップロードされます。

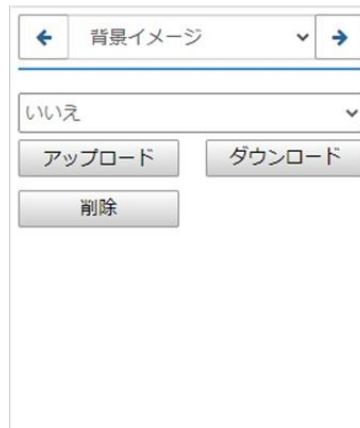


[図 6.11] ファームウェアアップデート

-  本機を再起動します。
-  本機をスタンバイモードにします。
- **出荷状態に戻す**
全ての設定とプリセット、レイアウトが消去されます。

6.4.6. 背景イメージ

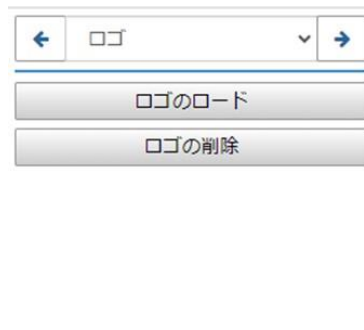
スクリーンの背景を任意の画像に置き換えることができます。アスペクト比を維持しての拡大、または画面フィットの拡大が可能です。



[図 6.12] 背景イメージ

6.4.7. ロゴ

ロゴを設定することができます。ロゴはユーザーインターフェースウィンドウの右上に表示されます。ユーザーロゴのイメージは最大1MBのpngフォーマットで登録してください。



[図 6.13] ロゴ

6.4.8. 管理

本機には2つのビルトインユーザーアカウントがあり、1つは "Administrator" というユーザー名の管理者アカウント、もう1つは "User" というユーザー名の一般ユーザーアカウントがあります。こちらの画面でアカウントのパスワード変更が可能です。

← 管理 ▾ →

新しい管理者パスワード

.....

設定 消去

新しいユーザーパスワード

設定 消去

キーロック

[図 6.14] 管理

管理者アカウントのパスワードは工場出荷時に「dexion」で設定されています。一般ユーザーのパスワードは未設定（空白）です。

【注意】 こちらの設定項目は Administrator アカウントのみ設定変更が可能です。

また、「キーロック」にチェックを入れると、本機フロントパネルのボタン操作をロックできます。

6.4.9. ログ

本機で行ったオペレーションをログファイルとして表示・保存することができます。ログファイルは日付を選択して呼び出すことができます。システムログは180日間保存されます。

← ログ ▾ →

error warning

Info debug

hwmonitor トレース

日付: 11/28/2023 📅

ログを表示

[図 6.15] ログ

以下のログタイプメッセージを保存することが可能です。

- Error
- Warning
- Info
- Debug
- HW Monitor
- Trace

6.4.10. 情報

本機のハードウェアセンサーの情報（電源、電圧、ファン回転速度、温度）を確認できます。



[図 6.16] 情報

センサーが正常な数値を測定している際は、緑色のランプが表示されます。数値が適正值から外れた場合、赤色のランプが表示されます。

7. IP カメラ & メディアプレーヤー機能



[図 7.1] 入力 1 設定画面




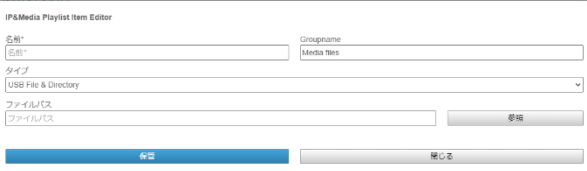
1 番の入力ポートを「IP&Media」に設定することで、メディアプレーヤー機能を利用することが可能です。プレゼンテーションには様々な種類のコンテンツを使用することができます。

- AVI もしくは H.264 に対応した USB 上のビデオファイル
- AVI もしくは H.264 に対応したネットワークディレクトリ上のビデオファイル
- IP ストリーミング (RTSP)
- HTML5 Web ページ
- VNC クライアント

7.1. プレイリストの作成

以下の手順でプレゼンテーションのプレイリストを作成します。

<p>ステップ1. 画面上部の「DXHTML Control DVP661」のタブをクリックし「設定」を選択してください。</p>	
<p>ステップ2. 設定画面左側の入力ウィンドウから、「Input1 :」の設定ボタン⚙️をクリックします。</p>	

<p>ステップ3. 入力1の詳細設定画面が表示されます。入力ポートから「IP&Media」をクリックします。</p>	
<p>ステップ4. 「プレイリスト」ボタンをクリックします。</p>	
<p>ステップ5. プレイリストウィンドウが表示されます。「新規作成」をクリックします。 ステップ6.</p>	
<p>ステップ7. 設定ウィンドウが表示されます。名前のテキストボックスに、このプレゼンテーションに対する適切な名前を入力します。</p>	
<p>ステップ8. タイプのドロップダウンリストから、プレゼンテーションの種類を選択します。</p>	
<p>ステップ9. 再生するメディアの場所（ファイルパス、URL、IPアドレス等）を入力します。「参照」ボタンを押すことで、リストからメディアファイルを選択することも可能です。</p>	
<p>ステップ10. 入力が完了したら、保管ボタンをクリックします。</p>	

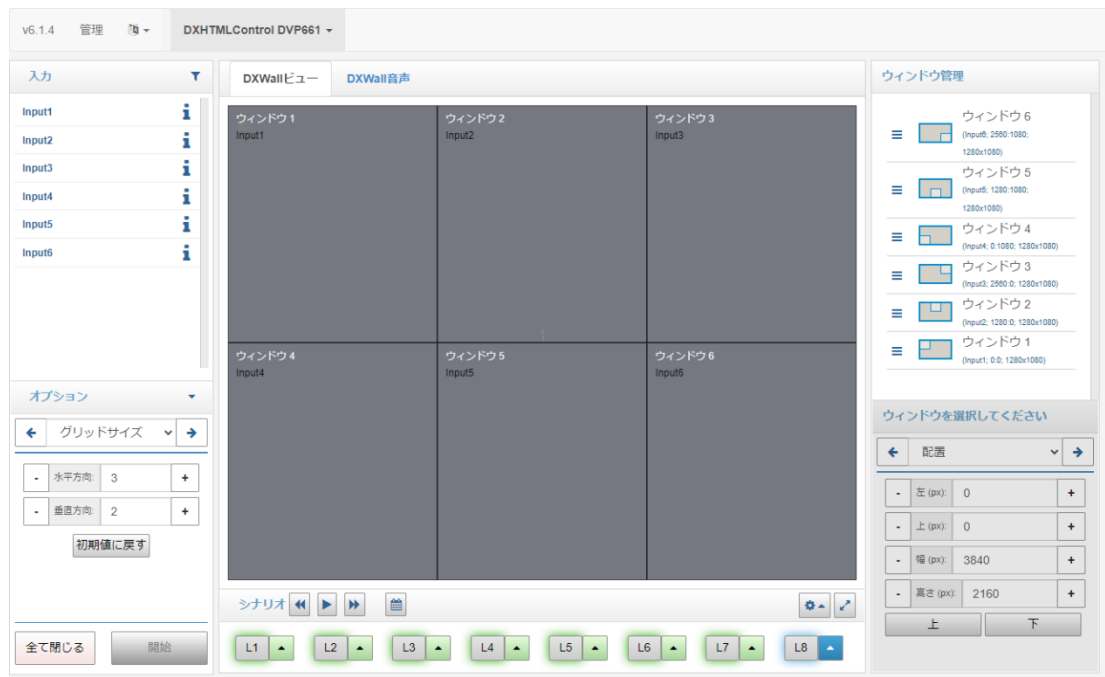
【注意】 作成したプレゼンテーションをアクティブにするには、名前の左にあるチェックボックスを選択してチェックを入れてください。このアクティブ化は、コントロールセクションでも変更することができます。

8. シナリオ操作

ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、複数のレイアウトから構成されるシナリオを作ることができます。本機にはレイアウトを最大 64 個まで保存できます。

8.1. DXScenario User Interface

コントロール画面から、シナリオの作成、表示が可能です。



【図 8.1】 コントロール画面



【図 8.2】 シナリオパネル

既存のシナリオを開始する場合は、シナリオパネル右上の設定ボタンから「シナリオを開く」を選択してシナリオファイルを選択してください。シナリオファイルの拡張子は.xmlです。シナリオは、シナリオパネル上のレイアウトボタンによって構成されます。選択したシナリオのレイアウトを表示するには、レイアウトボタンをクリックしてください。シナリオは、同じボタンを再度押すことで停止できます。シナリオは一度に一つのみ実行できます。



【図 8.3】 シナリオ操作ボタン

8.2. シナリオファイルの編集と操作

新しいシナリオファイルの作成手順は以下になります。

- **新しいシナリオの作成**
「消去」メニューをクリックします。シナリオが登録されていない状態が復元されます。シナリオを作成するには、シナリオのステップを一つずつ定義する必要があります。
- **ステップの作成 / 保存**
新しいステップを作成するには、保存したいレイアウトボタンの右側の▲をクリックし、保存を選択します。新しいレイアウトが保存され、既存のレイアウトが上書きされます。
シナリオパネルの右上にある設定ボタンから「レイアウトの作成」を選択することでも、現在のウィンドウの配置をレイアウトに保存できます。この場合、レイアウトは何も保存されていないレイアウトボタンに新規に保存されます。
- **プロパティ**
プロパティメニューからレイアウト名やステップの変更が可能です。ボタンの色は簡単に変更でき、ステップや時間のパラメータの追加を行うことができます。



【図 8.4】 プロパティメニュー

- **シナリオの保存**
本メニューをクリックすることで作成したレイアウト/シナリオを.xml ファイル形式でエクスポートできます。

- シナリオを開く

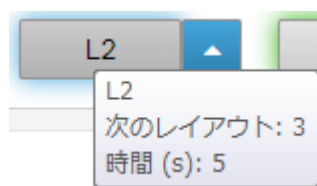
保存したシナリオファイルを本機にインポートできます。ファイルを読み込むと保存したレイアウトがシナリオパネルに復元されます。

レイアウト表示には、いくつかのオプションがあります。

- シナリオの再生/停止

シナリオ再生機能は指定した時間でレイアウトをシーケンシャル表示することができます。シナリオ再生には、再生時間を設定する必要があります。

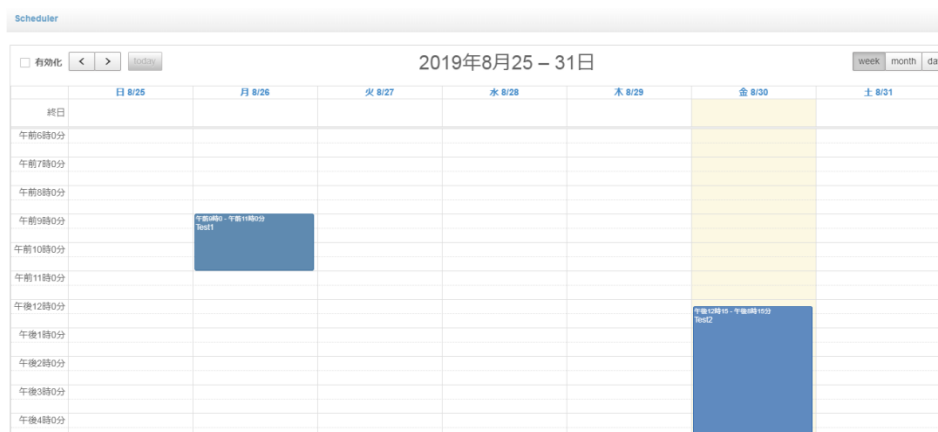
「再生」ボタンを押すと、選択したシナリオを表示します。設定した時間が経過すると、「次のレイアウト」で定義したレイアウトに切り換わります。再生時間を設定していない、または「次のレイアウト」を「オフ」に設定している場合は、シナリオ再生が停止します。「停止」ボタンをクリックすることで、シナリオ再生を手動停止することが可能です。



[図 8.5] シナリオのループ操作

8.3. カレンダーを利用した DXScenario ユーザーインターフェース

カレンダーを利用し、シナリオを動作させることができます。



[図 8.6] シナリオのスケジュール画面

8.4. スケジュールイベントの作成

以下の手順でプレゼンテーションを追加します。

1. カレンダーボタンを押します。
2. カレンダーからシナリオを動作させたい日付をクリックします。
3. 設定ウィンドウが表示されます。名前のテキストボックスに、このプレゼンテーションに対する適切な名前を入力します。
4. プロトコルドロップダウンリストから、イベントタイプを選択します。
 - リコールレイアウト = レイアウトの呼び出し
 - Text Over Serial Port = シリアルポートからテキストの送信
 - Hex Over Serial Port = シリアルポートから HEX の送信

シリアルポート経由で string もしくは byte array を送信できます。例えば、byte array なら 01 A4 05 30 01 は 1 byte = 2 hex digit とスペース 1 つを意味しています。

5. リコールレイアウトを選択した場合は、呼び出し対象のレイアウトを選択します。Text (Hex) Over Serial Port を選択した場合は送信するデータを入力します。
6. 常時プレゼンテーションを表示する場合は、「常に有効」ボックスにチェックを入れてください。「常に有効」を選択すると、起動時と毎晩 0:00 にプレゼンテーションがスタートします。
7. プレゼンテーションの開始時刻と終了時刻を設定したい場合は、「開始時刻」と「終了時刻」を入力します。
8. 特定の時間帯で繰り返してプレゼンテーションを利用したい場合は、「定期イベント」をチェックしてください。以下のオプションが選択できるようになります。

日ごと

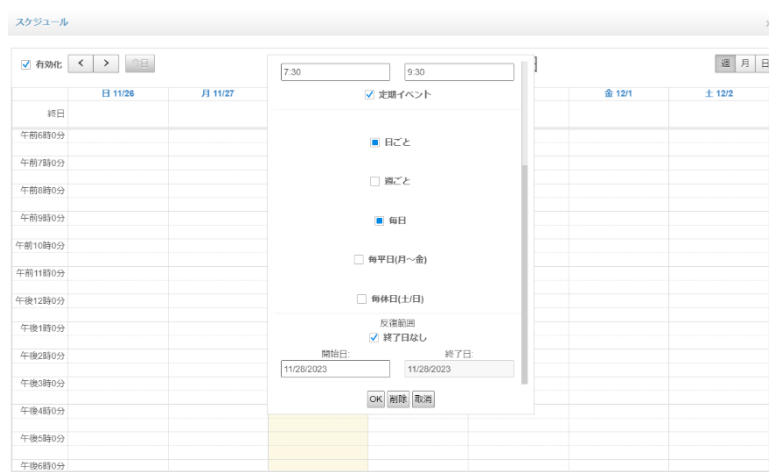
- ・ 毎日
- ・ 毎平日（月～金）
- ・ 毎休日（土 / 日）

週ごと 実行する曜日を選択できます。

「定期イベント」をチェックした際は、「開始日」と「終了日」を設定する必要があります。

9. 設定が終わったら、「OK」をクリックしてください。

【注意】 すべてのイベントを無効にするには、左上にある「有効化」チェックボックスを外してください。



【図 8.7】 イベントパネル (カレンダーベース) の追加・修正

9. 外部キーボードを使った操作

標準のキーボード、またはプログラム可能なキーパッドを接続することで、作成済みのレイアウトを簡単に呼び出すことが可能です。レイアウトを呼び出す際のキーボードの組合せは、以下になります。

1. CTRL キーを長押しします。(CTRL KeyDown)
2. レイアウトの ID 番号 (レイアウトボタンに表示されている数字) を入力します。
3. CTRL キーを離します。(CTRL KeyUp)
4. 入力した ID 番号のレイアウトに切り換わります。

10. 製品仕様

		DVP661
映像音声入力	HDMI	6 系統
		HDMI/DVI 1.0 TMDs シングルリンク、HDCP 1.4/2.2 TMDs クロック: 最大 300 MHz、TMDs データレート: 最大 18 Gbps Deep Color ¹
		640x480@60 ~ 2560x1600@60 Reduced Blanking 480p ~ 3840x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、3840x2160@50/59.94/60 (4:2:0)、 4096x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、4096x2160@50/59.94/60 (4:2:0) 色深度: 24 bits ※詳細は対応映像信号表を参照
		リニア PCM: 最大 2 チャンネル サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz 基準レベル: -20 dBFS、最大入力レベル: 0 dBFS コネクタ: HDMI Type A (19 ピン) 最大距離: 5 m ²
アナログ音声	6 系統	
	ステレオ L/R バランス / アンバランス信号	
	コネクタ: ターミナルブロック (3 ピン)	
映像音声出力	HDMI	1 系統
		HDMI/DVI 1.0 TMDs シングルリンク、HDCP 1.4/2.2 TMDs クロック: 最大 300 MHz、TMDs データレート: 最大 18 Gbps Deep Color
		640x480@60 ~ 2560x1600@60 Reduced Blanking 480p ~ 3840x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、 3840x2160@50/59.94/60 (4:2:0)、 4096x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、4096x2160@50/59.94/60 (4:2:0) 色深度: 24 bits ※詳細は対応映像信号表を参照
		リニア PCM: 最大 2 チャンネル サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz 基準レベル: -20 dBFS、最大入力レベル: 0 dBFS コネクタ: HDMI Type A (19 ピン) 最大距離: 5 m ²
アナログ音声	1 系統	
	ステレオ L/R バランス / アンバランス信号	
	コネクタ: ターミナルブロック (3 ピン)	
制御 I/F	RS-232C	1 系統 コネクタ: D-sub (9 ピン)
	LAN	1 系統 コネクタ: RJ-45
機能	音声	音声ディエンベッド
	制御	Web ブラウザー、制御コマンド、メディアプレーヤー機能

	その他	画面合成機能 (フリーレイアウト)、 完全シームレス切換 (単面切換時)
その他仕様	電源	専用 AC アダプター: DC 12 V 4.16 A 50.0 W
	最大消費電力	90 W
	外形寸法	435 (W) × 67 (H) × 334 (D) mm
	質量	3.5 kg
	温度	使用範囲: 5°C ~ +40°C、保存範囲: -20°C ~ +60°C
	湿度	使用範囲: 20% ~ 90% (ただし結露なきこと)
付属品		専用 AC アダプター × 1、AC コード × 1

(注 1) 3D/ARC/HEC 非対応

(注 2) ケーブルの種類、品質、敷設方法、接続する機器および設置状態により、映像の乱れや映像が出力されないなど、最大距離が満たされないことがあります。

測定条件は以下になります。

- ・ HDMI : 18 Gbps 高速伝送対応ケーブルを使用し、3840x2160@60 24 bits の信号を伝送したとき

11. 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しない場合は、まず以下の点をご確認ください。また、本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 本機に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ シンク機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。なお、故障の連絡をするときは、以下の点を事前にテストしてください。

No.	確認内容	結果
1	すべてのコネクタで同じ現象がでますか？	はい / いいえ
2	本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？	はい / いいえ

DVP661 取扱説明書

<ユーザーズガイド>

Ver.1.0.0

発行日：2023年12月4日



株式会社アルバニクス

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中心 7-9-1
TEL: (046) 259-6920
FAX: (046) 259-6930
E-mail: info@arvanics.com
URL: <http://www.arvanics.com>